

エルムだより

第3号
2019.6

未来を担う卒業生紹介

「身近なことをわかりやすく伝える」

— 憧れの仕事に就いて —

6



北海道大学校友会エルム
HOKKAIDO UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION ELM

平成 31 年度 北海道大学入学式 〈校友会事業実施報告〉



▲会場入口において校友会トートバッグを配布

「オリジナルトートバッグ配布」

校友会をアピールするため、オリジナルトートバッグを作成し、入学式会場において新入生・保護者に配布しており、このバッグは入学後多くの会員に使用され、大変好評な

「事業内容アピール及び入会受付ブース設置」

保護者会場入口において、学生会員から、校友会入会者へ特典として実施している「入学式記念撮影」、

サービスとなっております。

校友会エールでは、平成31年4月4日（木）に実施された入学式会場において、活動アピール及び加入促進を図るため、各種の事業を実施しました。

Contents

入学式特集

北海道大学入学式〈校友会事業実施報告〉	2
「100 円朝食」の実施について	4
「2019 年度クラスマッチ」の実施について	5

〈表紙写真〉入学式会場への入場の様子



▲学生会員からのアピールの様子

「1000円朝食」の他、当日限定の「入会者プレゼント」のアピールを行った結果、当日、多くの皆様に入会いただきました。



▲校友会エルム 入会受付の様子

〔入学式記念撮影〕

校友会に入会いただいた会員の皆様を対象に入学式会場において、看板を設置し記念撮影を行いました。このサービスは例年大変好評なため、今年度はブースを1箇所増設し6ブースを設置いたしました。予

想を超える多くの皆様にお越しいただき、長い列ができてしまいました。次年度に向けては、一層スピーディに対応できるよう検討を進めて参ります。

これらの事業は、校友会の各委員会委員のほか、既に校友会に入会されている学生会員が行っており、入学式は多くの保護者の皆様と直接接することができる貴重な機会ですので、来年度以降も引き続き校友会の活動等、ご理解をいただける事業を実施していく所存です。



▲記念撮影の様子



▲記念撮影を待つ会員の皆様

「100円朝食」の実施について



▲朝食会場の様子



▲校友会チケットにより利用

校友会エルムでは、新入会員への支援事業として、4月8日（月）から5月17日（金）まで北大生協北部食堂において「100円朝食」を実施しました。

この事業は、本学入学に伴い、多くの新入生が親元を離れて一人暮らしを始めており、しっかりと朝食を摂ってもらうことで、健康維持と学習効果向上を図るため、今年度から開始したものです。

実施にあたっては、北大生協の全面的な協力のもと、メニュー開発から始め、栄養バランスに配慮し、個人の嗜好にも対応できるよう和食、洋食の選択、2日ごとのメニュー変更等を行いました。



▲本日の洋食メニュー

開始日となった4月8日（月）には、開店前から100名近い新入生にお並びいただき、利用者からは、「道外から北大に入学して、初めての一人暮らしのため、100円でしっかりと朝食が食べられるのはすごく助かる。」との声も寄せられ、大変好評でした。今後、利用者の意見も取り入れながら内容を一層充実させていきたいと考えています。



▲「100円朝食」利用者の列

「2019 年度クラスマッチ」の実施について



▲女子玉入れ



▲クラスマッチ開会式



▲多種目リレー

校友会エルムでは、学生支援事業の一環として、北海道大学体育会が2019年度入学の体育会会員を対象に4月27日（土）に実施した「2019年度クラスマッチ」（新入生大運動会）への協賛を行いました。

このイベントは、北海道大学に入学した新入生の親睦と交流を深めることを目的として、52クラス、約1,600人を3つ（赤、青、緑）の連合に分けて、5種目を通して得点を争うものです。クラス毎にオリジナルTシャツを着用し、各種目で熱戦が繰り広げられました。

校友会からは、参加者に対して「オリジナルシューズケース」の提



▲協賛賞品



▲校友会エルムオリジナルシューズケース

供及び卒業生の在職する企業に対して、協賛品（賞品）の提供をお願いし、当日、沢山の賞品が参加者に渡されました。

「身近なことをわかりやすく伝える」

憧れの仕事に就いて

テレビ北海道 磯田 彩実



北大入学の経緯
高校生の頃からアナウンサー
になることに憧れを持つ

放送局に勤めたいという強い思いが高校生のときからありまして、その一方理系の学部に進みたいということも決まっていました。そこから放送局に入るにはどうしたら良いか

と考える、たまたま北大工学部の「メディアネットワークコース」の紹介のページを見つけました。卒業生がどんな仕事に就いているなどの情報がたくさん公開されていて、放送局をはじめメディアの幅広い分野に人を輩出していることを知り、興味を持ったのが一番のきっかけでした。

学生生活
夢を叶えるために多くの
経験を積む

入学後、工学部の言語メディア学専攻に進みましたが、そこではロボットが会話をするためのシステムの研究を行っていました。言葉を機械的に処理するために言葉について

も学ぶというようなところがあったて、将来的には自分のやりたい仕事にも役に立つ研究内容と考えゼミを選びました。

また、課外活動では、北大の公認のサークルで4年間バレーボールに打ち込み、そのほか沢山のアルバイトを経験しました。塾の講師や家庭教師の他、美顔器の販売やアパレルで働いてみました。3年生では、札幌の観光大使を務めさせていただき、多くの経験を積んだことがすごく印象に残っています。

本学卒業から現在まで

多くの放送局を受験して
念願の職を得る

就職活動では、多くの放送局を受けました。東京、大阪、名古屋、札幌と、その他、理系だったので、エンジニアの仕事も受けていました。放送局にはどうしても勤めたくて、もしアナウンサーがかなわなければ技術職で放送局に入りたいと思っていて、工学部に入ったところもあります。

テレビ北海道へは2012年の4月に総合職として採用となりました。その春からキャスターが空き、たまたま私の入社したタイミングと

重なり、番組に出るようになりました。最初はアナウンサーではなかったのですが、報道部記者をしながら番組のキャスターとして出してもらい、正式にアナウンサーとしての仕事をすることができるようになったのは、入社した年の10月からです。

現在は「けいナビ」という番組のディレクターも兼ねて特集を企画し、そこから自分で取材に行き、原稿を書き、VTRを作るという作業も行っています。

大事にしていること

**自ら興味を持ったことを
体感して伝える**

一番感じているのは、やっぱり身



近であること。見る人が自分にもあり得る現象であったり、想像できるようなことでなければ興味を持ってもらえないと丸7年経済番組を担当してきて感じています。

また、基本的には可能な限り自分でも現場に足を運ぶようにしています。実際に見たり触ったりしたもの伝えることや、番組としてもその現場から伝えるということを重視しています。

北大への要望

**研究成果をわかりやすく
伝えてほしい**

報道部にいると北大からすぐたくさんさんのプレスリリースをいただきます。以前、私も「鳥がくちばしでリズムを刻んでいる」というような研究成果のリリースを見て取材をさせてもらいました。すごくいろいろな研究がされていて、様々な成果が出ていますが、まだまだスポットの当たっていないところがたくさんあるなと感じています。もっと広く社会に発信できればと卒業生として強く感じています。

次代を担う世代へのメッセージ

できるだけ多くの経験を積むこと

今すぐ思うのは、大学のときこそ、狭い世界ではなく、いろいろなものを見たり経験したりしてほしいなと思っています。よく就活生が来て、「会社について勉強しました」とか「この業界を志望しているので、この業界について勉強しています」ということを聞きますが、その時間をもったいないなと思っています。

大学生だからこそできることが沢山あると思います。時間はあるし、やりたい勉強だろうとアルバイトであろうと旅行であろうとトライするチャンスはすごくいっぱいある4年間です。その間になるべく純粋に見たいものを見て、食べたいものを食べたり行きたいところに行ったり、いろいろな経験を積んでほしいなと思っています。

そこで何かに興味を持てたら最高ですし、そこから進路を考えてもいいと思います。海外に行くチャンスも北大にいればたくさんあると思います。新渡戸カレッジなどいろいろなシステムがあるので、そういうものをフルに活用して、何に興味があるかを探す4年間にしてもいいと思う

ています。最終的な目標が学生のうちに見つからないとしても、やっぱりそこで見たものや経験したことが糧になると思うので、出不精にならず、いろいろなことにトライする時間にしてほしいなと思っています。



Profile

〔略歴〕

2012年3月 北海道大学工学部情報エレクトロニクス学科卒業

2012年4月 テレビ北海道 (TVh) 入社
現在に至る

HOKKAIDO UNIVERSITY HOME COMING DAY

Be ambitious again!

9.28 2019
[SAT]

会場 北海道大学 札幌キャンパス

主催 北海道大学

共催 北海道大学校友会エルム

お問い合わせ先

北海道大学 総務企画部 広報課

TEL:011-706-2101 FAX:011-706-2010
受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

<https://www.hokudai.ac.jp/home2019/>



北海道大学校友会エルム事務局

〒060-0809 札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学 百年記念会館内

TEL:011-706-2101 FAX:011-706-2010

MAIL:kouyukai@general.hokudai.ac.jp HP:<http://www.alumni-hokudai.jp>

